

製品名: Lyn (リン酸化Tyr508) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04963**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	53,56kDa

抗原情報

遺伝子名	LYN
別名	LYN; JTK8; Tyrosine-protein kinase Lyn; Lck/Yes-related novel protein tyrosine kinase; V-yes-1 Yamaguchi sarcoma viral related oncogene homolog; p53Lyn; p56Lyn
遺伝子 ID	4067.0
SwissProt ID	P07948
免疫原	抗血清は、ヒト Lyn の Tyr507 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 463-512

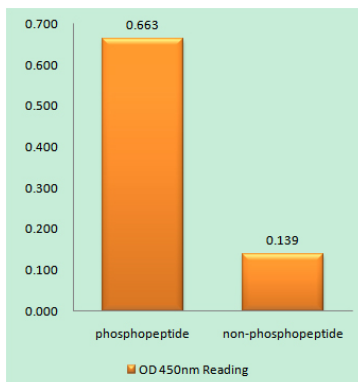
背景

この遺伝子はチロシンプロテインキナーゼをコードしており、肥満細胞の脱顆粒および赤血球分化の調節に関与している可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2011年7月]、触媒活性: ATP + a [protein]-L-チロシン = ADP + a [protein]-L-チロシンリン酸。、類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr プロテインキナーゼファミリー。、類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr プロテインキナーゼファミリー。SRC サブファミリー。、類似性: 1つのプロテインキナーゼドメインを含みます。、類似性: 1つのSH2ドメインを含みます。、類似性: 1つのSH3ドメインを含みます。、サブユニット: リン酸化 LIME1 および BCR 活性化時に CD79A と相互作用します。エプスタイン・バーウイルス LMP2A と相互作用する。TGFB111 と相互作用する。SH2 および SH3ドメインを介して MUC1 と相互作用する。この相互作用は IL-7 によって刺激され、その後のリン酸化によって MUC1 と CTNNB1/β-カテニンとの結合が促進される。SH3ドメインを介して PPP1R15A と相互作用する。、組織特異性: 原発性神経芽腫で発現する。、

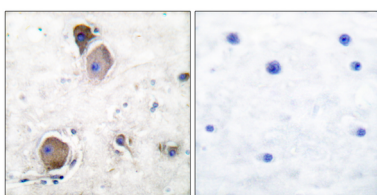
研究分野

ケモカイン、B細胞抗原、Fc イプシロン RI、Fc ガンマ R を介した貪食作用、長期抑制、ヘリコバクターピロリ感染における上皮細胞シグナル伝達。

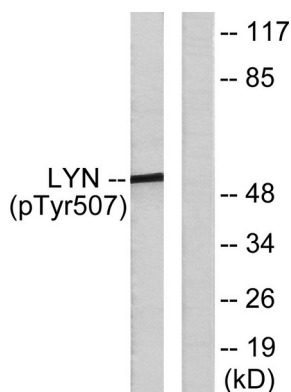
画像データ



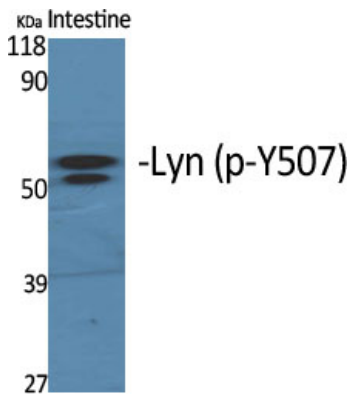
Lyn (リン酸化 Tyr507) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



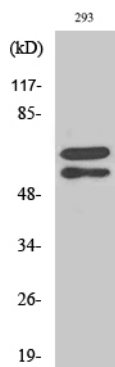
Lyn (リン酸化 Tyr507) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



Lyn (リン酸化 Tyr507) 抗体を用いた、H₂O₂ 100uM 30分処理した K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 希釈の Phospho-Lyn (Y508) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 1000 希釈の Phospho-Lyn (Y508) ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析